



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月3日

上場会社名 株式会社 椿本チエイン  
 コード番号 6371 URL <http://www.tsubakimoto.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大原 靖  
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 和田 幸子  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月4日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6441-0054

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	46,596	△3.7	4,139	△14.1	4,225	△20.2	2,795	△15.0
28年3月期第1四半期	48,391	8.9	4,818	6.0	5,294	10.8	3,288	8.0

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △3,118百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 4,469百万円 (62.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	14.94	—
28年3月期第1四半期	17.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	244,628	140,804	56.0
28年3月期	254,106	145,815	55.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 137,103百万円 28年3月期 142,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	100,000	△1.5	9,200	△14.2	9,400	△17.3	5,800	△19.8
通期	206,000	1.0	20,800	△3.6	21,000	△5.0	13,400	5.0
								31.00
								71.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	191,406,969 株	28年3月期	191,406,969 株
29年3月期1Q	4,332,188 株	28年3月期	4,330,756 株
29年3月期1Q	187,075,097 株	28年3月期1Q	187,092,817 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年6月30日）における当社グループの事業環境は、米国経済は景気の拡大が続き、欧州経済も概ね緩やかな景気の回復基調で推移しましたが、中国の景気減速などアジア経済の成長は鈍化しました。わが国経済は、新興国経済の減速や円高を背景とした輸出の伸び悩み、企業収益の悪化による設備投資の停滞などにより足踏み状態が続きました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の受注高は499億44百万円（前年同期比5.0%減）、売上高は465億96百万円（同3.7%減）となりました。

損益につきましては、営業利益は41億39百万円（同14.1%減）、経常利益は42億25百万円（同20.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億95百万円（同15.0%減）となりました。

当社グループは「中期経営計画2016」の重点課題である、市場ニーズに徹底対応した商品開発やモノづくり、グループ総合力を生かしたビジネスの拡大、収益力の強化への取り組みを引き続き推進してまいります。

なお、セグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### [チェーン]

チェーンにつきましては、米州における動力伝動用チェーンの販売は好調に推移しましたが、日本国内における動力伝動用チェーンやケーブル・ホース支持案内装置などの販売減少、東アジアや環インド洋における動力伝動用チェーン、搬送用チェーンの販売減少などから、前年同期比で減収となりました。

以上により、チェーンの受注高は139億78百万円（前年同期比13.2%減）、売上高は142億39百万円（同9.7%減）、営業利益は14億9百万円（同5.4%減）となりました。

#### [精機]

精機につきましては、日本国内において直線作動機や減速機の販売が堅調に推移しましたが、中国における減速機の販売が減少したことなどから、前年同期比で減収となりました。

以上により、精機の受注高は52億43百万円（前年同期比5.2%減）、売上高は50億19百万円（同4.1%減）、営業利益は4億93百万円（同15.5%減）となりました。

#### [自動車部品]

自動車部品につきましては、日本国内における自動車エンジン用タイミングドライブシステムの販売は減少したものの、米国、欧州、タイ、中国、韓国、メキシコの各拠点において同商品の販売が好調であったことから、前年同期比で増収となりました。

以上により、自動車部品の受注高は182億34百万円（前年同期比2.2%減）、売上高は184億25百万円（同4.5%増）、営業利益は30億7百万円（同2.0%増）となりました。

#### [マテハン]

マテハンにつきましては、米国や欧州において金属屑搬送・クーラント処理装置などの売上が増加しましたが、日本国内における物流業界向けやライフサイエンス分野向けシステムの売上が減少したことなどから、前年同期比で減収となりました。

以上により、マテハンの受注高は118億22百万円（前年同期比0.3%増）、売上高は84億39百万円（同9.3%減）、営業損失は5億99百万円（前年同期は1億92百万円の営業損失）となりました。

#### [その他]

その他の受注高は6億66百万円（前年同期比31.2%増）、売上高は4億72百万円（同7.2%増）となりましたが、損益については18百万円の営業損失（前年同期は7百万円の営業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して94億78百万円減少し、2,446億28百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が40億86百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して44億24百万円減少し、1,121億11百万円となりました。

固定資産は、保有株式の時価下落などにより投資その他の資産が36億60百万円減少したこと、のれんの償却などにより無形固定資産が4億47百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して50億53百万円減少し、1,325億17百万円となりました。

### (負債)

負債は、賞与引当金が15億72百万円減少したこと、未払法人税等が14億27百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して44億66百万円減少し、1,038億24百万円となりました。

### (純資産)

純資産は、利益剰余金が9億28百万円増加した一方で、為替の変動により為替換算調整勘定が44億9百万円減少したこと、保有株式の時価下落などによりその他有価証券評価差額金が15億62百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して50億11百万円減少の1,408億4百万円となり、自己資本比率は56.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第2四半期(累計)および通期の連結業績予想につきましては、現時点では、平成28年5月10日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

##### (繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産および繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産および繰延税金負債の額との差額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が26百万円増加し、利益剰余金が26百万円増加しております。

##### (平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,195	20,502
受取手形及び売掛金	48,726	44,639
有価証券	7,533	7,933
商品及び製品	15,188	14,510
仕掛品	10,042	10,000
原材料及び貯蔵品	7,922	8,108
その他	7,329	6,802
貸倒引当金	△403	△385
流動資産合計	116,536	112,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,398	25,885
機械装置及び運搬具（純額）	29,456	29,221
工具、器具及び備品（純額）	3,192	3,151
土地	37,609	37,543
建設仮勘定	6,120	6,030
有形固定資産合計	102,777	101,832
無形固定資産	4,352	3,904
投資その他の資産		
投資有価証券	22,279	18,800
その他	8,289	8,106
貸倒引当金	△128	△127
投資その他の資産合計	30,440	26,779
固定資産合計	137,570	132,517
資産合計	254,106	244,628

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,986	24,078
短期借入金	9,316	9,452
1年内返済予定の長期借入金	1,231	1,149
未払法人税等	2,169	741
賞与引当金	3,732	2,159
工事損失引当金	30	31
その他	14,058	14,499
流動負債合計	55,525	52,112
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	14,269	14,261
役員退職慰労引当金	114	89
退職給付に係る負債	13,432	13,353
資産除去債務	262	262
その他	14,687	13,744
固定負債合計	52,766	51,711
負債合計	108,291	103,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	12,658	12,658
利益剰余金	112,395	113,323
自己株式	△2,074	△2,075
株主資本合計	140,056	140,983
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,602	6,040
繰延ヘッジ損益	54	113
土地再評価差額金	△10,614	△10,614
為替換算調整勘定	6,171	1,762
退職給付に係る調整累計額	△1,229	△1,181
その他の包括利益累計額合計	1,985	△3,880
非支配株主持分	3,774	3,700
純資産合計	145,815	140,804
負債純資産合計	254,106	244,628



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	48,391	46,596
売上原価	33,602	32,534
売上総利益	14,788	14,061
販売費及び一般管理費	9,970	9,922
営業利益	4,818	4,139
営業外収益		
受取利息	34	15
受取配当金	435	401
その他	177	137
営業外収益合計	647	555
営業外費用		
支払利息	75	74
為替差損	-	218
その他	95	175
営業外費用合計	171	468
経常利益	5,294	4,225
特別損失		
事業再編損	-	38
特別損失合計	-	38
税金等調整前四半期純利益	5,294	4,187
法人税、住民税及び事業税	1,141	810
法人税等調整額	803	523
法人税等合計	1,945	1,333
四半期純利益	3,349	2,853
非支配株主に帰属する四半期純利益	61	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,288	2,795

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	3,349	2,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	893	△1,561
繰延ヘッジ損益	△70	58
為替換算調整勘定	257	△4,495
退職給付に係る調整額	37	48
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△22
その他の包括利益合計	1,120	△5,972
四半期包括利益	4,469	△3,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,406	△3,069
非支配株主に係る四半期包括利益	63	△48

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,773	5,234	17,637	9,305	47,950	441	48,391	—	48,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	343	80	—	23	448	211	660	△660	—
計	16,117	5,315	17,637	9,329	48,398	652	49,051	△660	48,391
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	1,489	584	2,947	△192	4,828	7	4,836	△17	4,818

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△17百万円には、セグメント間取引消去50百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△68百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,239	5,019	18,425	8,439	46,123	472	46,596	—	46,596
セグメント間の内部 売上高又は振替高	308	64	—	5	378	159	538	△538	—
計	14,547	5,083	18,425	8,445	46,502	631	47,134	△538	46,596
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	1,409	493	3,007	△599	4,310	△18	4,292	△152	4,139

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△152百万円には、セグメント間取引消去41百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△194百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。